



島根県公立小中学校
事務職員研究会

会長：鎌田陽子
(出雲市立神戸川小学校)

編集：広報部

VOL.45 2012.8.8 (夏祭り号)

発行責任者 安田あけみ (長久小学校)

島事研ホームページ

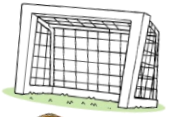
<http://www.oh-net.com/~kenjiken/>

爽

SOU

【目次】

- ▶ 『Inspire a generation』(会長)
- ▶ 美郷町の取組
- ▶ 島事研事業部紹介
- ▶ 総務グループも学校訪問
- ▶ 人権コーナー
- ▶ 事務歳時記
- ▶ 著作権Q & A
- ▶ まんが「フーちゃん」
- ▶ 編集後記



『Inspire a generation』

会長 鎌田 陽子

今期、会長を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いたします。

島事研は、40年を越える歴史を積み重ね、事務職員制度の確立をめざし、職務内容明確化や資質向上のための研修充実など多くの成果を築いてきました。さらに、前会長のもと『島事研ビジョン・第4次研究中期計画』をスタートさせ、島事研の方向性を示し、新しい取組を始めました。こうした歩みを停滞させることなく「次」へ繋ぐことができると考えています。

最近、U35世代の声を取り上げているテレビ番組があります。そのなかで、「かつては、若いときから声を出しやすかった。今は声を抑えていないか。」と誰かが語っていました。その話を聞いて、私たちは、学校事務職員の世代交代を意識しすぎて、急いで伝えなければという思いで「声を抑えて」いるのではないかと思い始めました。

現在、島根県の学校事務職員のほぼ半数は50代です。私たち世代がU35の声を抑えてはいないでしょうか。U35世代は自分の声を抑えてはいませんか。

今年度は、『島事研ビジョン2010中期活動計画』の中間年にあたります。確実に「次」へ繋げるために、取組を急速に進めることなく、これまでの2年間の活動を検証し、後半の取組につなげていきたいと思ひます。

ところで、「爽」は、もう第45号になるんですね。

当時の広報部長さんに呼び集められ、「なんかおもしろそう!」といったノリで県事研(当時)広報の創刊に関わりました。県大会へ赴く車中でみんなで「爽」と命名したこと、ワイワイやっていた編集会議のことなどが懐かしく思い出されます。

あれから15年。まさか、「爽」の巻頭に載ることになるろうとは……。

今度は、「なんかおもしろそう!」といったノリでは務まらないようです。

このたびの役員改選で、ほとんどの役員が交代となりました。会員の皆様に大きなご迷惑をおかけすることがないように、役員みんなで協力しながら務めていきます。

世界各国各地域の選手たちの頑張りに、たくさんの感動をもらったロンドンオリンピックのスローガン『Inspire a generation』。島事研もまた、世代を超えて奮い立たせましょう!!

ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

美郷町の共同実施

今年度で
5年目

私たちは、美郷町の子どもたち、そして子どもたちを支える職員の想いに寄り添う！…、そんな想いで実践活動をおこなってきている。

美郷町では4校（小学校2校，中学校2校）5人で実践できる活動を考え、現在にいたっている。①実践にあたって様々な声を受け止めるため、②実践の方向性を確かなものにするため、教育委員会、校長会、教頭会との合同会を設けたり、全職員にアンケートを実施したりしている。柱となる活動は『情報提供紙の発行』、『地域人材バンク』、『就学援助事務』、『学校修繕カルテ』、『ホームページの充実』である。

それでは、今年度の経営案を紹介してみたい。

平成24年度 学校事務共同担当部会経営案

今年度における美郷町共同担当部会のテーマ

『児童生徒の進路保障と職員の安心』

○美郷町内の学校事務の支援（整備）

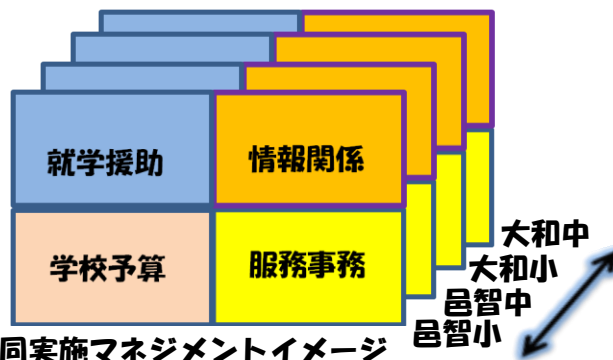
○美郷町内の児童生徒の学習環境支援，職員の安心サポート



取組内容

○学校事務の支援 ☆職員への支援 ◎児童・生徒・保護者への支援

- 教育委員会との連携（学校事務の支援）
- 視察・研究大会への参加（視野・知識拡大）
- 実務研修（事務能力の向上）
- ☆情報提供『MisaNet（広報だより）』の発行
- ☆町内・地域人材バンク
- ◎学校修繕カルテ
- ◎ホームページの充実



○教育委員会との連携（学校事務の支援）

教育委員会と連携する学校事務（学校予算事務，就学援助事務等）について，情報を相互に共有しながら，児童・生徒，保護者，職員の安心を見据えてすすめていく。

☆情報提供「MisaNet」広報だより

今年度も引き続き，職員への情報提供をおこなっていく。

◎学校修繕カルテ

3年目になる。昨年度，やっとめざしていた流れで進めることができた。少しずつではあるが前進している。今後継続していくためにも教育委員会，校長会，教頭会と連携を深めていきたい。

○視察・研究大会への参加

共同実施に取り組んでいる地域（学校）の視察，又は研究大会への参加を通して個々の資質の向上を図り，共同実施実践活動に生かしていく。

☆町内・地域人材バンク

3年目になる『人材バンク』だが，利用率が低い課題をもとに，様式の在り方，周知方法等の見直しをしていく。教頭会と連携して実践したい。

◎ホームページの充実

4年目になる美郷町ホームページの中にある『小中学校のお知らせ（転出入の手続き・就学援助制度・就学指定校の変更について・奨学金制度）』のコーナーについて最新の情報を提供するよう努める。

美郷町学校事務共同実施について

美郷町教育長 田邊哲也
美郷町教育委員会

美郷町の学校事務共同実施は、①事務処理の効率化と事務の適正化・標準化による事務部門の整備 ②事務部からの助言、情報の提供等による指導や校務の充実と保護者・職員の安心に向けての支援を目標として、取り組んできて5年目となります。

具体的な取組として、

【学校事務の支援】

1. 就学援助事務処理の見直し～教育委員会との連携
2. 学校修繕カルテの作成～教頭会との連携による学校施設管理
3. 事務職員の資質の向上を目指した実務研修・研究大会への参加

【子ども・保護者・職員への支援】

1. ホームページの充実による保護者への情報提供
2. 人材バンク作成による情報提供
3. MisaNet(職員向け広報誌)発行による職員への情報提供



以上により、事務環境を整備することで、教育力の向上を支援しています。どれも、特に評価すべき事項で、美郷町の宝であります子どもたちのために笑顔あふれる学校を目指した、素晴らしい取組です。

特に「学校修繕カルテの作成」は、町内4小中学校における大きな修繕箇所を、教育委員会、校長会、教頭会と一緒に確認をし、子どもたちの学習環境状況を把握するとともに、対応策や修繕の優先順位を協議検討し、教育委員会へこれを提出し、町の修繕計画の重要な資料となっております。4校の優先順位の調整については、特に苦労されているのではとっております。教育委員会としては、予算編成にあたり大変ありがたく活用させていただいています。それぞれに、学校事務職員の個々の特性を生かして、創意工夫し協力して取り組んできたものとなっております。各学校において、学校教育目標の実現を支える他の職員とともに、一体感をもってコミュニケーションを図りながら取組を進めていくことが必要と考えます。

そして、「美郷町の子どもたちの育ちのために学習環境を整え、学校力の向上をめざすとともに、子どもたちを支える保護者、職員をサポートする。」という目標を実現するために、より一層のご尽力をお願いいたします。

美郷町立邑智中学校 校長 福村郁夫

美郷町では、校長会と事務職員のみなさんで年度の始めや終わりに協議の場を持って、学校事務共同実施のあり方や進め方について一緒に考えることにしています。その際に出てくる事務職員のみなさんの声を聞いていますと、美郷町の取組のすばらしい点をたくさん感じることができます。

一つ目は、「学校の教育力の向上」という共通の目標があり、それに向けた取組を通して、具体的な成果があがってきているということです。事務職員のみなさんの発言や取組からは、「学校を元気にしていこう」「みんなで心をつなぐでいこう」という強い思いが伝わってきます。その姿勢は、とてもすばらしいと思います。

二つ目は、職員の視野を自分の学校のことだけでなく、町内全体に広げるような取組がなされているということです。特に、「学校修繕カルテ」や「人材バンク作成」の取組は、自分の学校だけでなく、他の学校や他の学校の児童生徒のことも含めて、町内全体の教育と一緒に考えていくことができる取組であり、とてもすばらしいと思います。

三つ目は、事務職員のみなさんがお互いに「元気」や「パワー」を分かち合って仕事に取り組んでおられるということです。日々慌ただしい教育現場ではありますが、元気に、楽しく仕事をしていこうという姿勢はとてもすばらしく、大切なことだと思います。

この他にも、たくさん成果、効果が共同実施の取組を通して生み出されています。今後も、各学校の教育力の向上に向けて、力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。

美郷町教育委員会 係長 岩谷知広
美郷町立邑智中学校 教育係

美郷町では現在、ほぼ毎月町内の学校事務職員の皆さんと共同担当部会を開催しております。教育委員会からの連絡事項をはじめ、各学校からの要望事項、学校ごとの取組などの情報交換が主な内容となっております。

他市町の教育委員会によっては、各校からの予算要求を求めず、市町で決定して各校に配分するやり方を取っているところもあると聞いております。学校数が多いためのやむを得ない方法かと思われます。

美郷町では小学校2校、中学校2校と学校数が少なく、その分各校の要望を聞いた上での予算組みができます。完全とはいかないまでも、ある程度現状を踏まえた予算づくりにはなっているのではないかと思います。

また、各校の施設の修繕要望をまとめてもらい、重要度に応じランク付けをして、それを基に修繕をしていく取組を行っています。これも各校の事務職員さんを中心として施設の現状の取りまとめを行っていただいているおかげと思っています。

教育委員会としてはなにぶん予算を伴うことですので、全てを一度に行うことはできませんが、緊急度の高い箇所を優先しながら、できる範囲で修繕を行って、学校側の要望に応じていきたいと考えています。

今後も日々のコミュニケーションを大切に、事務職員のみなさんと充実した学校体制作りに取り組んでいきたいと思っています。

研究部

研究部では第4次研究中期計画を策定し、平成22年度から5年間の研究テーマを「創造しよう 新しい学校事務を！」とし、「教育課程づくりへの参画」をゴールイメージに研究を進めています。昨年度までの2年間は、「学校事務職員が学校財務マネジメント能力を向上させることによって学校組織が有効に機能し合い、教育目標の達成に一層効果的であろう」という仮説のもと、研究してきました。

今年度からは「情報共有によるつなぐ役割への発展」を目標とした取組を提案し、情報の共有化を柱とした研究を進めていきます。学校運営に重要な係わりを持つ情報の共有化によって、学校・地域・関係諸機関との協働を目指すためには何と何をつなぎ、事務職員が校内・グループ・校区・地域において「どんな取組が可能なのか」を、具体的取組目標を持って実践し、そこから得た成果や課題をもとに研究テーマに迫ろうと考えています。

会員の皆様の多様な取組実践例を提出していただくことにより、会員間の情報の共有化も実現していきたいと考えています。ご協力のほどよろしくお祈いします。

研究部長 青山悦子（揖屋小）

部員

勝部千恵（東出雲中）、谷川美緒子（十神小）
岡田由美（吉田中）、松崎寛子（三沢小）
津田耕一（温泉津中）、木戸清治（池田小）

広報部

今年度より広報部長を引き受けた安田あけみです。5人の部員の皆さんといっしょに力を合わせてがんばっていこうと思っていますので、よろしくお祈いします。

広報部では、爽（夏祭り・時雨・雛祭り号）年3号の発行、ホームページの管理・運営を行っています。わかりやすく親しみを持っていただけるような広報活動を行っていききたいと思っておりますので、ご意見ご要望等ありましたら広報部までお祈いします。

広報部長 安田あけみ（長久小）

部員

蘿 恵（静間小）、石川大介（大和小）
坂井佳恵（邑智小）、野上 佳（矢上小）
大隅彩子（江東中）



研修部

私たち研修部は現在8名で活動をしています。

県大会の企画・立案（大会要項の作成、研究集録・記録集の校正）やセミナーの企画・運営（講師の検討、開催要項の検討、運営計画）を行っています。

また、新規採用事務職員の研修体制について検討し、一昨年度末には校内における研修について、県教委と教育センターに提案をしました。今年度は事務グループ内での研修のあり方について話し合いを行っています。

年7回程度部会を開催し、最新の情報を交換することのできる、とてもよい研修の場です。また県大会の要項や研究集録は、事前に各自がチェックし、全員で校正作業を行うので、県大会当日は充実したものとなります。

これからも、会員の皆さんのニーズに応えられるような企画をしていきたいと思ひます。

研修部長 熊谷美千子（頓原小）

部員

曾田晃子（日御碕小）、福間とう子（檜山小）
河村広実（窪田小）、横貝淳子（木次小）
小林美幸（三刀屋小）、柿田みどり（仁摩中）
土井こずえ（江津東小）

事務局

今年度、役員一新で、事務局も顔ぶれが大幅に代わりました。

やってみなければわからない目に見えない仕事がたくさんあり、前事務局長の内藤さん他、事務局の皆さんには本当に頭の下がる思ひです。内藤前事務局長には、ことあるごとに電話をかけて、まだまだ頼りっぱなしですが、早く一人前に皆さんのお役に立てるような仕事ができるようになりたいと思ひています。

また、歴代の会長以下役員の方々の努力のお陰で今の島事研が存在しており、それを次世代に引き継いでいく責任を感じているこの頃です。鎌田会長、渡邊副会長、吉賀副会長のもとで、島事研の発展に微力ながら貢献できるよう事務局全員頑張りますので、どうぞよろしくお祈いいたします。

事務局長 梶岡純子（広瀬中）

事務局員 今岡弘子（玉湯中）、門脇可代子（広瀬小）、笠川陽代（島根小）、安達公一（能義小）

総務グループも 学校訪問

浜田教育事務所
総務グループ課長
福本 博幸

浜田教育事務所では、5月から7月にかけて14日間で、所長、調整監、指導主事、総務グループ、市町教委のメンバーが、管内88の全小中学校を訪問しました。例年、年度当初の所長訪問には、総務グループから課長が同行し、所長・調整監の管理職面談に同席しています。今年は、総務グループも学校現場を知ろうと、課長とグループ員1名が同行し、事務職員の話をお聞きしました。

できるだけ事務職員と同じ目線で普段の仕事の場の雰囲気や体感を体感すべく、職員のデスクの近くに座り、各校正味20分の面談。文書の受付からファイルまでの流れ、情報システムの活用、旅行命令を誰が作るか、グループ活動の状況、学校経営への関わり方、といった日々の業務の実際を教えてくださいました。小学校と中学校、学校の規模、立地環境、また時間帯によっても、職員室の空気も忙しさも様々という、学校の方にはあたりまえのことも、我々には発見でした。

事務職員と総務グループ員は、旅費や諸手当などの事務で、毎日電話でやりとりし、管内事務研や地域単位の研修で顔を合わせています。しかし、今回のように、全ての事務職員一人一人とじっくり向き合い、お互いの苦勞や考え方を話し合ったことはとてもよい相互理解の機会になりました。一日9校訪問した日などはヘトヘトでしたが、学校現場で意欲的に仕事をしている事務職員との面談は、我々のモチベーションも刺激してくれました。

教育事務所には県教委から、「迅速・適正な事務処理」が指示されています。このためには、我々のスキルアップだけでなく、学校事務職員も同じ思いを持っていただくことが欠かせません。今、共同実施やグループ活動の現場にも出かけて行き、情報共有したいことはどんどん全校にメール配信する、といったことを始めています。お互いが相手の立場を理解し、共に事務の改善に取り組み、いい学校を創る、そんな関係をさらに強くしていきたいと思えます。



人権 コーナー

松葉杖からのメッセージ

松江市立本庄小学校

岸本 淳平



私は今年の五月、不慮の事故により生まれて初めて“松葉杖生活”を送ることになりました。これまでの生活とは一変、不自由を強いられることも多々ありました。

特に困ったのは移動です。負傷後すぐに受診した病院で靱帯断裂と診断されると、松葉杖の歩行訓練を大勢の患者さんのいる待合室で行うことになりました。そのえも言われぬ熱い視線を感じながら、不器用でたどたどしい杖捌きで歩いている自分の姿は滑稽なくらいでした。また、雨の日は傘も差せないため頭にタオルを乗せ、家では片足ケンケンや床を這っての移動しかできません。日常の何ともない作業や仕事も思うとおりにはいかず、じつくりと時間をかけなければならぬ状態が一ヶ月近く続きました。

やがてこのような生活にも慣れてきた頃、松葉杖は必要なくなりました。今思い返すと、今まで何も気にせず生活を送ってきたことと、多くの人が気に掛けてくださった温かさがどれだけありがたかったことなのか、とても考えさせられました。「大丈夫？」とか、「何か手伝えることがあれば遠慮なく言ってね。」などと声を掛けてくださったり、どこで知ったのか他校の事務職員の方も電話で心配していただいたりもしました。学校では日直を代わっていただいたり、銀行に出掛けてくださったりと、配慮をしていただきました。

今回の負傷によって、同じような境遇の方の気持ちや、気に掛けてくださった方々のやさしさの両面をほんの少しですが感じることができました。一方、誰かに頼ったりお願いしたりできる職場環境や人間関係づくりも、普段から積み重ねておくことが重要であると改めて考えました。

事務歳時記

久屋小学校
森山 訓

教室の 声入れ替わり 新学期

また新学期が始まる。去年より一つずつ学年が上がるが、単式学級では同級生の顔ぶれは変わることはない。ただ、去年まで聞こえていた声や、違う方向から聞こえてくる。新一年生も入り、教室の声も入れ替わっている。

登校の 列長々と 春深し

一年生もけっこう学校に慣れてきたようだが、それでも登下校はきついものがあるようだ。特に一日勉強した後の下校時は足取りも重くなる。学校を出た時はきれいに一列で歩いていたのに、やがてその列は長くなっている。



女生徒の ウォークラリーや かきつはた

三瓶青少年交流の家で宿泊体験学習がある。小学校五年生が、一泊二日で行ういろいろな体験をする。三瓶登山、カレー作り、キャンプファイヤーなど。三瓶北の原には杜若で有名な姫逃池があり、ウォークラリーの生徒が歩いている。

ひらがなの名前 麦わら帽子かな

「麦わら帽子はもう消えた。田んぼのカエルは…」懐かしい人はけっこうな世代か。夏休みは麦わら帽子を被って蟬取り、蜻蛉釣り、魚釣り。鏝広の帽子の裏には、大きな文字でひらがなの名前が書いてあった。



著作権 Q&A

Q 運動会・体育祭の応援幕に人気アニメのキャラクターを描きたいのですが、著作権者の許諾がいらしますか？

A アニメのキャラクターを複製すること（自分で描くことも複製にあたります）は原則として著作権者の許諾が必要ですが、学校などの教育機関においては教師や児童生徒が「授業の過程における使用」を目的として複製する場合、例外的に著作権者に無断で複製することができます。（著作権法第35条）この授業の過程には文化祭、体育祭も該当すると考えられているため、著作権者の許諾は必要ありません。ただし「教育効果を高める上で必要である場合」という条件があるため、キャラクター描く必然性についてはよく検討する必要があります。

Q 「文化祭での合唱の様子をビデオで撮影し、動画で学校のホームページから公開したいのですが何か問題がありますか？」

A 文化祭で市販やレンタルのCDから音楽をかけたり、合唱したりすることは、著作権法第38条第1項の営利を目的としない上演・演奏についての規定があり、「非営利・無料・無報酬」の条件を満たせば、著作権者の許諾がなくても行うことができます。しかしながら、それを録音・録画したものを著作権者の許諾なくWeb上に不特定多数の者に向けて配信するという行為は、公衆送信権（無断で公衆に送信されない権利：著作権法第23条）の侵害にあたります。音楽に限らず、図版等も著作権者の許諾が必要なのが映像に含まれていないかよくチェックしましょう。また、児童生徒が映っている場合、肖像権への配慮も必要です。

【参考URL】文化庁なるほど質問箱

【編集後記】 今年、オリンピックイヤーですね。みなさんが読まれるころにはオリンピックも終わり、メダルラッシュ！！になっていることでしょう。せっかくの夏休みでしたが、寝不足ではないですか？ 暑い夏も終わりました。さて、2学期に向けて、気持ちを切り替え、未来のオリンピック選手をみんな育てましょう！？

遅くなりましたが、今年度から広報部員に加えさせていただくことにな



Vol.22 ぷいちゃん



原作：千葉ひろみ 画：大橋幸子